



広島オーストリア協会

会報 No.34

平成23年4月30日発行

編集・発行／広島オーストリア協会

〒730-8552 広島市中区白島北町19番2号
広島ホームテレビ 秘書室

TEL (082) 221-4964 FAX (082) 221-4905



広島市の被爆地で建立した平和モニュメント ～ウィーン16区役所前～



広島オーストリア協会 会長
在広島オーストリア名誉領事

橋本宗利

はじめに3月11日の東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。復旧の一日も早からんことをお祈り致します。

会員の皆様には日頃から広島オーストリア協会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年度の広島オーストリア協会では、6月に年次総会、8月には講演会とピアホルの会、12月にはクリスマス例会、1月にはウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団による「ニューイヤークンサート2011」などの事業活動を行いました。

総会にはユッタ・バストル大使ご夫妻にもご出席頂き、オーストリアの現況や日奥間の懸案など示唆に富んだお話を頂きました。また、昨年9月9日には、ウィーン市で日本の伝統文化を紹介する「ジャパンデー」のイベントが盛大に行われました。これは、一昨年の当協会とウィーン日協会が協同で設置した「平和モニュメント」を記念したもので、当協会もこの行事に参加しました。

ウィーン市ではこれをきっかけに「ジャパンデー」のイベントを毎年行うことを正式決定したとのことで、広島だけでなく日本とオーストリアの友好親善と相互理解がこれまで以上に促進されることになり、非常にうれしく思います。

本年度も日本とオーストリア、広島とウィーンの友好関係が一層増進されるよう活動の充実に努めてまいります。

今後とも会員の皆様方に当協会の諸行事に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。



- 日 時 平成22年6月8日(火)18:00~20:00
- 場 所 ANAクラウンプラザホテル広島
- 出席者 125名

広島オーストリア協会の通常総会をユッタ・シュテファン＝バストル大使夫妻をメインゲストに迎えANAクラウンプラザホテル広島で125名の会員の皆さまの出席をいただき開催しました。

そして、バストル大使から「ウィーン塊日協会と共同でウィーン市16区役所前に設置された平和モニュメント建立をはじめとするいろいろな民間交流やコンサート開催、市民文化交流など、広島オーストリア協会の日頃の活動」に対して感謝とお礼が述べられました。

引き続き、広島で活躍する韓国人のソプラノ歌手チャ・



▲ 福本会長



▲ バストル大使

キョンシルさんとピアニストのイ・ジンハさんによる演奏が行われ、リヒャルト・シュトラウスの歌曲「献呈」やオペラ蝶々夫人より「ある晴れた日に」などが演奏されました。



▲ 総会会場



▲ 懇親会



▲ 演奏者 チャ・キョンシルさん
イ・ジンハさん

平成21年度事業報告

- 平成21年度理事会・総会・懇親会
6月9日(火) ANAクラウンプラザホテル広島 (出席者:108名)
- ピアホールの会
7月24日(月) 広島アンデルセン (参加者:83名)
- ウィーン交響楽団によるトロンボーン四重奏団公演
9月18日(金) 広島ALSOKホール (参加者:1,116名)
- クリスマス例会
12月2日(水) リーガロイヤルホテル広島 (参加者:145名)
- 近藤嘉宏クリスマスリサイタル
12月12日(土) フェニックスホール (参加者:801名)
- 講演会
3月12日(金) 広島ホームテレビ多目的ホール(参加者:67名)

平成22年度事業計画

- 平成22年度理事会・総会・懇親会
6月8日(火) ANAクラウンプラザホテル広島
- 講演会・ピアホールの会
8月予定
- デザートを楽しむ会
10月予定
- クリスマス例会
12月予定
- ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団
ニューイヤー・コンサート
1月7日(金) 広島市文化交流会館(旧広島厚生年金会館)

平成22年度役員(平成22年6月8日現在)

役員	氏名	現職
会長	橋本 宗利	(株)広島ホームテレビ会長
副会長	不破 亨	湧永製薬(株)副会長
	光井 安子	音楽家
	吉原 誠	マツダ(株)コーポレート業務推進本部兼CSR推進部長
専務理事	村井 博文	(株)広島ホームテレビ総務局長
理事	安東 善博	(株)中国放送社長
	紙元 秀樹	(財)ひろしま国際センター専務理事
	川口 英二	(株)テレビ新広島常務取締役
	熊平 雅人	(株)熊平製作所会長
	ゲオルグ・バステインガー	駐日オーストリア大使館一等書記官
	後藤 文生	広島テレビ放送(株)会長

役員	氏名	現職
理事	沢田 武一	三菱商事(株)中国支社長理事
	ステューブ・ロイド・リーパー	(財)広島平和文化センター理事長
	長松 勇	広島エフエム放送(株)会長
	野坂 文雄	(株)もみじ銀行頭取
	濱 幾太郎	(株)広島ホームテレビ社長
	林 克士	福山商工会議所会頭
	福嶋 正純	広島大学名誉教授
	望月 成二	エビス電工(株)社長
	山本 一隆	(株)中国新聞社副社長
監事	岩崎 恭久	中国電力(株)常務取締役
	志水 省夫	(株)新日放社長

講演会・ビアホールの会

- 日 時：平成22年8月31日(火)18:00~20:00
- 場 所：広島アンデルセン4階スカンジナビアホール
- 参加者：95人

講演は東京にあるオーストリア政府観光局のミハエル・シュトラッサー局長が「オーストリアの魅力」をテーマにビデオやスライドを使用しオーストリアの歴史、文化、観光など多角的に紹介し出席者はオーストリアの素晴らしさ堪能しました。

また講演の後で、西日本で活躍する中国人の二胡奏者の趙栄春さんと福政歩さんのピアノの演奏に参加者は楽しいひと時を過ごしていました。



◀ 乾杯 横田 洋さん



▼ 会場



▲ ミハエル・シュトラッサー局長 講演



◀ 趙栄春さん(二胡)と福政歩さん(ピアノ)の演奏

クリスマス例会

- 日 時：2010年12月13日(月) 18:00~20:00
- 場 所：広島リーガロイヤルホテル 4階クリスタルホール
- 参加者：121名

ゲストとしてオーストリア大使館商務部のマルティン・グラッツ商務部参事官とアーノルド・アカラー商務副参事官に出席していただきました。日本と海外で幅広く活躍するピアニストのリサ中道さんによるモーツァルトの名曲やクリスマスソングの演奏やお楽しみ抽選会に参加者全員が楽しい一時を過ごしました。



▲ マルティン・グラッツ参事官(右)とアーノルド・アカラー副参事官(左)



▲ リサ中道さんの演奏



▲ 会場



▲ 抽選会



▲ 司会 山田幸美さん

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート2011

～新年を彩る心温まるコンサート～

冬のウィーンは音楽シーズンの真っ盛り。ヨーロッパの華やかでにぎやかな雰囲気そのまま広島にもってきたかのような、そんな心温まるコンサートが年明け間もない1月7日に開かれました。

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団は、1825年「ワルツの父」ヨハン・シュトラウス1世により結成され、1844年に「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世によって今の43名の形に編成された歴史のあるオーケストラです。

この日の広島は今シーズン一番の寒波でしたが、楽団員の皆さんは宿泊先のANAクラウンプラザホテル広島から会場の広島市文化交流会館まで散歩を楽しみながら楽屋入りされました。さすが旅慣れていらっしゃいます！

楽屋では、用意したベーグルをほおぼりながら会話を楽しむ人、終演後に行きたいお好み焼き屋さんの地図を求め人など様々です。なにより驚いたのは、ステージ裏手で着替えをされる男性楽団員が多かったことです。(地下の楽屋で着替えるのが面倒くさかったようですね)

そんなアットホームな雰囲気があるのも、指揮者であるヨハネス・ヴィルトナーさんの人柄にもあるようです。ヴィルトナーさん自身とってもユーモアたっぷりの方で楽団歴代指揮者の中でも最高の組み合わせといわれています。(楽団員の誰からも好かれているそうです)

プログラムは、オペレッタ「こうもり」序曲から始まり第一部の最後はワルツ「皇帝円舞曲」、第二部の終わりは「美しく青きドナウ」など、新年にふさわしい私たちになじみの深い曲(皆さんどこかで聴いたことがありますよね)を効果的にちりばめていました。

クラシックコンサートというと、かしこまって静かに聴かなければいけないというイメージをもたれがちですが、このコンサートに限っては聴衆を楽しませようという心配りがいっぱいです。

なんといっても指揮者のヴィルトナーさんは芸達者です。曲目の合間に英語で次の曲の説明をされるのですが、



最後の方は怪しげな大阪弁で笑いを誘っていました。

また自らもヴァイオリンの演奏を披露し指揮棒をヴァイオリンの弓で代用するなど意外性いっぱいでした。

また、「ワルツは踊りながら演奏するんだよ」とウインクしてくれた楽団員の皆さんも楽しそうに演奏されていました。

アンコールでは、日本の「一月一日」(と～しのは～はじめの…という曲です)で聴衆の心をとらえ、「シャンペン」という曲ではコンサートマスターやお客さんとシャンペングラスで乾杯したりと盛り沢山の演出のあと、ラデツキー行進曲(ラジオのカープ中継の前に流れるあの曲です)で手拍子とともにおよそ二時間余りのコンサートが終わりました。

2階席には中学や高校で吹奏楽を学んでいる生徒さんも多く来られていました。

出口にはオーストリア協会の入会窓口も設けていましたが、コンサート後入会を希望される方が例年より多かったのは嬉しい限りでした。



オーストリア政府が東日本大震災に100万ユーロの災害義援金



岩谷駐オーストリア大使
とフィッシャー大統領

東日本大震災に対して、フィッシャー オーストリア大統領が岩谷滋夫駐オーストリア日本大使と会談し、被災者と日本国民にお見舞いの意を表されるとともに、天皇陛下に宛てた哀悼とお見舞いの書簡を伝達され、「オーストリア政府としてあらゆる支援協力を致します」と述べられました。

ウィーンをはじめオーストリア各地で、「ウィーン少年合唱団」や「ウィーン・フィル」など多くの文化団体や市民グループが、大震災被災者の支援募金活動やチャリティコンサート、犠牲者への追悼演奏会などを行いました。



ミヒヤエル・シュピンデレグー外務大臣は、3月22日の閣僚会議決定に従い、義援金100万ユーロ（約1億2千万円）を外務省の災害基金から東日本大震災の被災者に送ることを発表しました。

シュピンデレグー外務大臣は3月22日にウィーンの日本大使館を訪れ、オーストリア政府代表として弔問とお見舞いの記帳を行いました。

◀ お見舞いの記帳をされるシュピンデレグー外務大臣

東日本大震災 駐日オーストリア大使お見舞いの言葉

3月11日に日本を襲った長い歴史のなかの最大級の自然災害の大惨事には、福島原発の大きな被害により更なる深刻な局面が加わりました。被災地からの映像や多くの犠牲者はじめ大きな人的苦難は我々の想像を超えるものです。

こうした非常に大変な時期にこの信じ得ない災難を乗り越えるべく、超人的力を要するとも言える課題に立ち向かう日本国民の規律正しく冷静な対応に、世界の人々が尊敬の念を抱いています。

オーストリアは長い間日本と深い友情で結ばれており、日墺修交140周年を迎えたのはつい2年前のことです。オーストリアの連邦大統領はじめ連邦政府が、直ちに日本国民との連帯の意を表明し、災害基金から緊急支援金100万ユーロを提供しました。同時に、オーストリ

ア全国で義援活動が開始されており、そのなかではとりわけ文化活動が大きな役割を担っています。

ウィーンおよびオーストリア全国の有名な文化機関の音楽家や芸術家が急遽被災者のための義援コンサートを開催することを決めました。音楽が友情と情愛の要役をなし、現況を克服し、将来に向かって羽ばたくための癒しとエネルギーとなることを願っています。オーストリアの人道支援組織が義援金を募り、オーストリア国民は連帯の意を示したい気持ちで一杯です。

私自身、被災者の方々の苦悩に心を痛めております。最愛の家族を奪われ、人生最大の試練を課せられた日本国民の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

駐日オーストリア大使

ユッタ・シュテファン＝バストル

トピックス

スキー発祥100周年



今年は明治44年（1911年）オーストリア軍人によってスキーが日本に初めて紹介されてから100年を迎えます。スキーを紹介指導したのは、オーストリア陸軍のレルヒ少佐で、日露戦争に勝利した日本陸軍研究のため来日し、約2年間滞在しました。

滞在期間中にスキーが得意であったレルヒ少佐は、新潟県や北海道で、当時の日本陸軍の将兵や市民にスキー

を指導しました。このことが日本でのスキーの始まりとされています。

新潟県上越市には、レルヒ少佐を顕彰する「日本スキー発祥記念館」が、また北海道旭川には少佐の銅像があります。

昨年末から今年の冬には、全国各地のスキー場で多くの「スキー発祥100周年の記念イベント」が行われました。

ウィーン「ジャパン・デー」に参加して

大坂 孝子



大坂 孝子さん

私は、昨年9月9日にウィーン市16区で行われた「ジャパン・デー」イベントの着物ショーに裏方として参加しました。

ウィーン訪問は、2009年9月、旧広島市役所の被爆石でウィーン市内に建立した「平和モニュメント」プロジェクト訪問団に引き

続きですが、1997年の広島オーストリア協会の親善訪問団に初めて参加して以来、合わせて4回目となりました。

今回の「着物ショー」はウィーン在住のイップ・常子さんと広島オーストリア協会会員の三村妙子さんが中心となって企画されました。このイベントには広島からは私を含めて4人がボランティア参加しました。

「ジャパン・デー」は「平和モニュメント」建立を記念して昨年9月9日にウィーン市16区の地下鉄オタクリング駅前の特設広場で開催され、軍楽隊の演奏で開幕し、延べ数千人の市民が訪れるなど盛大に行われました。

イベントは日本の伝統文化を紹介するのも目的のひとつで、私たちの着物ショーとともに合気道、剣道、弓道などの武術から尺八、箏など、和楽器などを趣味とするオーストリア人の日本文化愛好家も多く参加していました。

私の今回の参加は、若い頃取得した美容師と着付け師の資格を生かし、ウィーン在住の日本人女性18人がモデルを務めた「着物ショー」のお手伝いが大きな目的でした。

若い女性の晴れ着である中振り袖をはじめ、訪問着や小紋、卒業式で女子学生に人気のあるはかまや伝統的な留袖など、着物を通して日本の伝統文化を多くのウィー



プロコップ、ウィーン16区長と「着物ショー」の参加者



「ジャパン・デー」開会式

ン市民に紹介でき、素晴らしいイベントとなりました。

私自身、モデルとなった人たちに着付けと髪型を整えてあげるのも約30年振りのことでした。モデルとなったのは留学生や商社の駐在員夫人などで、着物を着る機会もほとんどなく、中には初めての人もいてなかなかスムーズにはいきませんでした。

しかし、会場を訪れたウィーン市民は日本の伝統の着物に興味を示し、そして着物を試着したご夫婦が非常に喜んでいる姿を目にして私自身も大いに感激しました。

滞在は、わずか一週間で、準備とリハーサルと本番で休む暇もなく汗だく汗だくのキリキリ舞いの毎日でしたが、貴重な体験とともに素晴らしい思い出となりました。

普通の旅行では味わえないこれらのイベントを通じて地元のウィーンの人たちとのふれあいも楽しみ、歴史と音楽・芸術の街「ウィーン」は、私にとってこれまで訪問した海外の都市の中でも回数も多く第二のふるさとのような気がします。そして、ますます「ウィーン」が大好きになりました。（広島オーストリア協会会員）



弓道の実演をするオーストリア人愛好家



「ジャパン・デー」を楽しむウィーン市民

エスターハージー宮殿

イップ 常子



イップ 常子さん

オーストリアはウィーン州を始めチロル州やザルツブルグ州など9つの州から成り立っています。その一つ、ハンガリーとの国境近くのブルゲンランド州をご紹介します。ブルゲンランドを直訳すると「お城の国」で、その名の通り、2001年に世界遺産に登録されたノイシードラー湖周辺にはたくさんのお城が点在しています。

お城の多くは今でもエスターハージー侯爵家によって管理されています。エスターハージー侯爵家はヨーロッパ有数の名門貴族で、何世紀にもわたり歴史的に非常に重要な役割を果たしてきました。公開されているエスターハージー家のお城の中から特に観光に最適なスポットをご案内いたしましょう。



エスターハージー宮殿

1. エスターハージー宮殿

ブルゲンランド州の州都アイゼンシュタットには素敵なエスターハージー宮殿があります。この宮殿はオーストリアに数多くある宮殿の中でも最も美しい宮殿の一つです。17世紀にパウル・エスターハージー一世が購入後、ゴシック様式からバロック様式へと増築し約350年の間同家によって維持されてきました。

この宮殿ではエスターハージー家の華やかな歴史と宮廷生活を偲ぶ数々の部屋が見学できます。また、この中には素晴らしい音響効果の「ハイドンホール」があります。ここは世界で最も美しいコンサートホールの一つといわれています。作曲家ハイドンは40年間エスターハージー家に仕え、多くの名曲をここで作曲するとともに演奏活動も行いました。宮殿内の東館ではハイドンを紹介する常設展が行われており、ハイドン直筆のオペラの台本を始め、ビデオでハイドンの当時の生活や音楽の世界が身近にご覧いただけます。

宮殿の地下には300年以上の伝統と歴史を持つワイン醸造所があり、現在はワイン博物館として公開されています。ハイドンは報酬の一部をワインで受け取っていましたが、ハイドンの



ハイドンのサインとワイン

サインのある実物の契約書も展示されています。

2. フォルヒテンシュタイン城

アイゼンシュタットから車で20分ぐらい走るとロザリア連山の高台に城砦が見えてきます。このお城はトルコ戦争の時に防壁として使われましたが、17世紀にエスターハージー家の所有となりました。

城内には中世の歴史的なホールや厨房、また民間ではヨーロッパ最大規模の武器庫や深さ142mの中世の井戸などが見学できます。このお城の見所は、何世紀にもわたり収集された世界的にも珍しい芸術品や骨董品です。これらの貴金属は豪華な宝物殿で見ることができます。また、エスターハージー家代々のギャラリーには、世界で唯一保存されているブラド・デペシュ作の全身像「ドラキュラ伯爵」の絵画やフン族の「アッティラ王」の肖像画があり、必見の価値があります。この2人はエスターハージー侯爵家の先祖とされています。



豪華な芸術品の数々

3. ラッケンバッハ宮殿

フォルヒテンシュタイン城からブドウ畑などを経て小さな町に入ると、ルネッサンス様式のラッケンバッハ宮殿をご覧いただけます。この宮殿はエスターハージー家の最も古い居城の一つで、17世紀のハンガリー王朝の副統治者であったニコラウス・エスターハージー侯爵時代の由緒ある建物です。

現在は宮殿の一部が自然体験博物館として公開されています。この近くには18世紀にエスターハージー家の所有となったコーベルスドルフ宮殿やヨーロッパ最大級のランドセイ城跡もあります。

4. ロッケンハウス城

ハンガリー国境近くに1200年ごろ建築された城砦があります。ここには歴史上最も残酷な血の伯爵夫人といわれたエリザベート・バトリが住んでいました。今でも城内には当時の残酷な処刑に使用された器具などが展示されています。薄暗い壁のホールには当時をしのばせる不気味さが残っていますが、ここでは中世の吟遊詩人を装った音楽家の生演奏を聞くことができます。また隣りにあるラッ



ラッケンバッハ宮殿

ケンバッハ宮殿の厨房では、中世の時代を再現した山賊料理が、大きな原木で作ったテーブルで試食できます。

5. エステルハージ宮殿

現在はハンガリー領となっていますが、アイゼンシュタットから少し離れたところのノイシードラー湖近くにフェルトウードの町があります。そこには「ハンガリーのヴェルサイユ」と呼ばれる立派なバロック様式のエステルハージ(ハンガリー語の発音)宮殿があり、18世紀頃のエステルハージ家の栄華を偲ぶことができます。

ハイドンとフランツ・リストの父も宮廷楽長として仕え、2人の肖像画と譜面などが展示されています。またハプスブルク家の基礎を作った女帝マリア・テレジアの「素晴らしい音楽を聴くためにはエステルハージ宮殿に行かなくては」と語ったエピソードは大変有名

です。マリア・テレジアが滞在した部屋には当時のベッドや肖像画などが展示されています。

エステルハージ家は、宮殿や多くの城などを所有するオーストリアで最大規模の財団法人ですが、芸術的なイベントの企画運営も行っており、文化振興を担う民間団体としても知られています。

例えば、今年の夏はローマ時代の採石場であるザンクト・マルガレーテンに屋外の特別舞台が設置され、様々なイベントが開催されます。そして、モーツアルトの有名なオペラ「ドン・ジョバンニ」が7月19日から8月28日まで21回公演されます。

また、エステルハージ宮殿内のハイドンホールや庭園では、国際的に著名な音楽家による「2011年エステルハージ・フェスティバル」も開催されます。

あなたも是非「お城の国」ブルゲンランド州を訪れてみませんか。(オーストリア・ウィーン在住)

ニューイヤー・コンサートのお知らせ

ウィーン交響楽団 ヨハン・シュトラウス アンサンブル

《ニューイヤー・コンサート2012》

指揮・ヴァイオリン:アントン・ソロコフ

名門オーケストラの精鋭12名によるウィнна・ワルツの決定版。ヨハン・シュトラウス、ヨーゼフ・シュトラウスらの有名なワルツ、ポルカ、オペレッタの序曲、行進曲などで構成します。

日時 2012年1月9日(月・祝) 午後

場所 はつかいち文化ホールさくらびあ

入場料 未定



プロフィール

～最もオリジナルなウィнна・ワルツ～

1965年にウィーン交響楽団の首席メンバーによって結成され、楽団所属の正式団体として世界中で1000公演以上を重ねてきました。89年を皮切りに来日も十数回を数え、全国250公演以上の実績を挙げています。12名という編成は19世紀のヨハン・シュトラウス自身のオリジナル・スタイルにのっとったもので、第1ヴァイオリン奏者が演奏をしながら指揮をする(フォルガイガー)室内オーケストラで、当時の小粋なサロン・コンサートをありのままに再現します。小編成で息の合ったアンサンブルで演奏されることによって、曲の生き生きとした魅力、ライブ感などが身近に感じられることが大きな魅力となっています。

今回は、ソプラノ歌手の共演も予定しており、ステージには新春にふさわしいウィーンの香りが花と咲きます。

編集後記

この度の東日本大震災では海外各国から多くの支援の手がさしのべられています。オーストリアからも、政府をはじめ多くの民間団体や個人から義援金など温かい援助が届いています。ともかくこの大災害から早く復興して欲しいと祈るばかりです。

4月2日に予定していました「ケーキバイキングと音楽を楽しむ会」が大震災のため延期となりお詫び申し上げます。

会員の皆様には、日頃の広島オーストリア協会の運営にご協力頂き、感謝申し上げますとともに今後ともご支援とご協力をよろしくお願い致します。なお、ご意見やご希望などがありましたらご遠慮なく事務局までご連絡下さい。

(K.T.記)